

# 桜の庄兵衛

information vol.36

どこまでも透き通り、美しく響くリンベ(横笛)。

一人で高低二つの声を同時に発して歌うモンゴルの伝統芸術、ホーミー。

広大な草原を駆け抜ける野生馬、山に響くこだま、鳥たちの声、水のせせらぎ、夕焼け、満天の星空…

サウガゲレルさんの音楽は、研ぎすまされた技巧と表現力に加えて、彼の地に育った者にしか表現できない何かがあるように思えてなりません。

ぜひ、ご自身の耳と心でお確かめ下さい。

## 蒼き風吹き渡る日の コンサート



6月18日(日)

●昼の部 13:00開演(12:30開場) ●夜の部 16:30開演(16:00開場)

### 出演

リンベ、ホーミー :マハバル・サウガゲレル  
ヨーチン(揚琴) :山本 敦子  
ホーチル(二胡) :鳴尾 牧子

### プログラム

モンゴルの四季  
ホーミーのメロディー  
牧民たちの喜びの歌  
浜辺の歌  
ふるさと  
他

### プロフィール

#### マハバル・サウガゲレル

モンゴル国ウランバートル出身。モンゴル国立音楽舞蹈学校、モンゴル国立芸術文化大学という難関校にてモンゴルの横笛リンベと、ホーミーを専攻、またその後中国の上海音楽学院で中国の笛子を専攻し卒業、2005年には大阪で行なわれた第5回大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門第1位、合わせて全部門での審査員長賞受賞。

[http://www.geocities.jp/lkhagvaa\\_mgl](http://www.geocities.jp/lkhagvaa_mgl)

#### 山本 敦子

神戸市出身。大阪音楽大学打楽器専攻卒業、同大学専攻科修了。2003年第5回国際音楽コンクール万里の長城杯打楽器部門第1位。「オリエント管弦楽団」「チャイニーズアンサンブル蘭花」にて、揚琴を演奏。

<http://www.geocities.jp/atsukoymym/>

#### 鳴尾 牧子

1993年、中国留学中に二胡と出会う。95年より1年間、北京の中央音楽学院で二胡と琵琶を学ぶ。現在、「オリエント管弦楽団」及び「チャイニーズアンサンブル蘭花」高胡首席、オーケストラ華夏コンサートミストレス。

<http://huqin.cn1.jp/>

桜の庄兵衛さん宅に伺うと、吹き抜けのホールに架かる太い梁が目に行く。丸太の皮を剥いただけの一旦、粗削りの造作に見えるが、艶が照る木肌はとて優美な曲線でなぞられている。森の数多いなかから選び抜いてきた先人たちの確かな目利きに頷きながらも、数百年前の森の佇まいにいつも想いが馳せる。

吉川さんの奏でるチェロの音色は、思いがけずその深い森の奥へと誘いをかけてきた。ゆったりと流れるような調べの心地よさに目を閉じていると、葉群から滴り落ちる水音のようなリズムが重複して流れてくる。トッ、トッ、ト。トッ、トッ、ト。知らぬ間に遠い記憶の中に入った。

小さい頃のわたしは、夏になるとよく母に連れられて森に入った。植林した木の生育をみるためであったが、いつも遠足気分、太い木に出会うと腕を回したものだ。耳をあてると聞こえてくる。トッ、トッ、ト。トッ、トッ、ト。伸びようとする木の鼓動だと、母は言った。

演奏のあとで知ったことだが、そのリズムは吉川さんの足元の魔法の箱から流れていたらしい。人にとっての心地よいリズムとは自然界の中に潜んでいるものと無縁ではないのかもしれない。彼はそこまで計算しつくして演じてみせたのだろう。

わたしはほとんど目を閉じて聴いていたが、ときおり何かに惹かれるように彼を見た。もちろん音に導かれてのことだ。その瞬間、彼の和らいだ表情は般若の形相に変わっていた。照明のせいでもある。形のよいくっきりとした

唇は左右対称にバランスがとれていて、両端は上がり気味。切れ長の眼も伏し目になると目じりが上がる。太い梁の辺りから照らすスポットライトで眼瞼は暗く窪んで、顔全体にそれらしき陰影が刻まれる。まさに般若。猛り狂った冬の能登半島の海の岩場で、波のしぶきを浴びながらバチを振りかざす鬼の形相が脳裡を舞った。音楽音痴の私の想像力をこれほど逞しくさせるなんて、なんとという音の表現者だろう。

それに、誰も身につけた感情の面を一つ一つ剥がしていけば、般若の面に行き着くはず。すべてが削ぎ落とされ、これほど端正で信頼できる表情はないのだから、彼は捨て身になって人間の営みを演奏したといえる。

「山笑う日のコンサート」のフィナーレは「素晴らしき世界」で締め括ってくれた。足元の魔法の箱から繰り返し繰り返し再生されてきて、帰途につく人のあとに付いていった。

家人が寝しずまったいま、わたしは彼の演奏を聴きながらこの原稿を書いている。窓の外には、昨夜より少し満ちた月がある。光るイヤリングをつけ、足首に鈴をつけた吉川さん。いま何処を行脚しているのか。月明かりの森に分け入っていく虚無僧の後ろ姿がなぜか浮かび、吉川さんとだぶって見えてしまう。



<http://www.syoubei.com> 桜の庄兵衛ギャラリーのホームページです。ぜひご覧ください。

●蒼き風吹き渡る日のコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野) まで  
※お電話は、9:00~12:00の間でお願いいたします。

参加費

¥2,500  
※当日、会場受付にてお支払い  
ください。

定員

90名・全席自由席  
※定員になり次第、締め切りとなりますので、  
お早めどうぞ。

会場

桜の庄兵衛ギャラリー  
豊中市中桜塚2-30-35  
TEL 06-6852-3270  
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

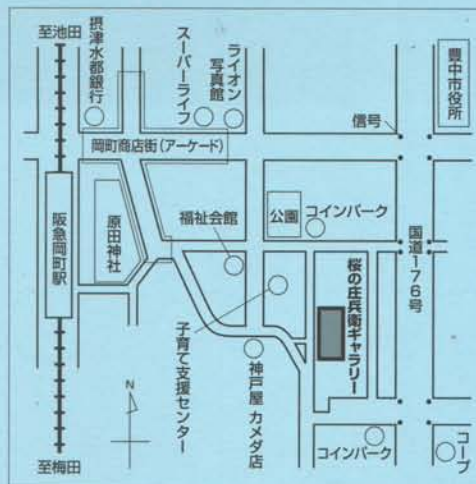
1 申込方法

官製ハガキに下記の必要事項をご記入になり、お席をご予約ください。  
※グループでお申込みの場合、代表の方がお申込みください。

宛先	ご記入事項
〒561-0881 豊中市中桜塚 2-30-35 桜の庄兵衛 宛	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ご氏名(ふりがな)</li> <li>●ご住所(郵便番号)</li> <li>●お電話番号</li> <li>●ご希望の時間帯 昼の部または夕の部</li> <li>●ご参加人数(計〇名)</li> <li>●グループ全員のご氏名(ふりがな)</li> </ul>

ご予約を受け次第、ハガキでご返信申し上げます。  
※グループでお申込みの場合は、代表の方にのみご返信申し上げます。

代表者以外の方は、  
当日受付にご氏名を  
お告げください。



2 申込方法

ファックスでもお申込みいただけます  
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受け次第、ハガキにてご返信申し上げます。

ファックス番号 06-6852-3270

3 申込方法

インターネットでもお申込みいただけます  
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受け次第、e-mailにてご返信申し上げます。

e-mail address syoubei@tcct.zaq.ne.jp